

平成 29 年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

保 育 原 理

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …       

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、保育に関する法律及び省令についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」において、幼保連携型認定こども園は、保護者に対する子育て支援をする必要はない。
- B 「児童福祉法」には、「保育士は、児童を心身ともに健やかに育成することについて第一義的責任を負う。」と規定されている。
- C 「教育基本法」には、「幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることにかんがみ、国及び地方公共団体は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他適当な方法によって、その振興に努めなければならない。」と規定されている。
- D 「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」(昭和23年厚生省令第63号)には、「保育所における保育は、養護及び教育を一体的に行うことをその特性とし、その内容については、保育所の独自性を活かして行う。」と規定され、保育内容はそれぞれの保育所の裁量に任されている。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | × | ○ | ○ | ○ |
| 3 | × | ○ | × | ○ |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問2 次の文は、「児童の権利に関する条約」についての記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 この条約の適用上、児童とは、18歳未満のすべての者をいう。ただし、当該児童で、その者に適用される法律の下でより早く成年に達する場合は、この限りではない。
- 2 児童に関わるすべての措置をとるに当たっては、公的若しくは私的な社会福祉施設、裁判所、行政当局又は立法機関によってなされたかにかかわらず、児童の最善の利益が主として考慮される。
- 3 児童の結社や平和的な集会への参加は、保護者の承諾のもとで行われなくてはならない。
- 4 児童が生命への固有の権利を有することが認められている。
- 5 児童の思想、良心及び宗教の自由の権利が尊重されている。

問3 次の文は、保育所及び幼保連携型認定こども園に関する記述である。(A) ～ (D) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 「児童福祉法」において、保育所は (A) 乳児・幼児を日々保護者の下から通わせて保育を行うことを目的とする施設である。
- ・ 「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」において、幼保連携型認定こども園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとしての満三歳以上の子どもに対する教育並びに (A) 子どもに対する保育を (B) に行い、これらの子どもの健やかな成長が図られるよう (C) を与えて、その心身の発達を助長するとともに、保護者に対する (D) を行うことを目的として、この法律の定めるところにより設置される施設である。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|------------|------|---------|--------|
| 1 | 保護者が就労している | 養護中心 | 適当な環境 | 子育て相談 |
| 2 | 保育に欠ける | 一体的 | 適当な環境 | 子育て教育 |
| 3 | 保育を必要とする | 一体的 | 適当な環境 | 子育ての支援 |
| 4 | 保育を必要とする | 長期的 | 計画された環境 | 子育ての支援 |
| 5 | 保育に欠ける | 養護中心 | 計画された環境 | 子育て相談 |

問4 次の文は、「全国保育士会倫理綱領」の一部である。(A) ~ (D) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- すべての子どもは、豊かな愛情のなかで心身ともに健やかに育てられ、自ら伸びていく(A)を持っています。

私たちは、子どもが現在(いま)を幸せに生活し、未来(あす)を生きる力を育てる保育の仕事に誇りと責任をもって、自らの人間性と専門性の向上に努め、一人ひとりの子どもを心から尊重し、次のことを行います。

私たちは、子どもの(B)を支えます。

私たちは、(C)の子育てを支えます。

私たちは、子どもと子育てに(D)をつくります。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|--------|----|-------|--------|
| 1 | 無限の可能性 | 育ち | 地域 | 便利な社会 |
| 2 | 無限の可能性 | 育ち | 保護者 | やさしい社会 |
| 3 | 無限の可能性 | 健康 | 地方自治体 | やさしい社会 |
| 4 | 自由な感性 | 健康 | 地域 | 便利な社会 |
| 5 | 豊かな感性 | 生命 | 保護者 | やさしい社会 |

問5 次の文は、「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」（平成26年厚生労働省令第61号）に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 家庭的保育事業等において保育を行う職員は、健全な心身を有し、豊かな人間性と倫理観を備え、児童福祉事業に熱意のある者であって、できる限り児童福祉事業の理論及び実際について訓練を受けた者でなければならない。
- 2 家庭的保育事業者等は、職員に対し、その資質の向上のための研修の機会を確保しなければならない。
- 3 家庭的保育者一人が保育することができる乳幼児の数は、5人以下とする。ただし、家庭的保育補助者とともに保育する場合には、7人以下とする。
- 4 家庭的保育事業者等は、利用乳幼児に食事を提供するときは、その献立は、できる限り、変化に富み、利用乳幼児の健全な発育に必要な栄養量を含有するものでなければならない。
- 5 家庭的保育事業では乳幼児の保育を行う専用の部屋を設けること。

問6 次の文は、「保育所保育指針」の一部である。(A) ～ (D) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- この指針は、児童福祉施設最低基準（昭和23年厚生省令第63号）第35条の規定に基づき、保育所における（ A ）に関する事項及びこれに関連する（ B ）に関する事項を定めるものである。
- 各保育所は、この指針において規定される保育の内容に係る（ C ）に関する事項等を踏まえ、各保育所の実情に応じて（ D ）を図り、保育所の機能及び質の向上に努めなければならない。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|-------|----|------|------|
| 1 | 保育の活動 | 運営 | 基本原則 | 創意工夫 |
| 2 | 保育の活動 | 経営 | 基本原理 | 独自性 |
| 3 | 保育の内容 | 運営 | 基本原則 | 創意工夫 |
| 4 | 保育の内容 | 経営 | 原理原則 | 独自性 |
| 5 | 保育の環境 | 運営 | 保育方法 | 創意工夫 |

問7 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

0歳児クラスに10か月児のNちゃんが入所しました。登園時には保護者から離れることを嫌がり泣くことが多いのですが、しばらく保育士と共に過ごすと、好きなボールの玩具を追いかけたり、保育士と共に絵本などを楽しむ姿が見られています。保護者は、朝Nちゃんと泣いて別れることをつらく思っていたり、Nちゃんが食事をあまり食べてくれないことや熱を出しやすいことを心配していたりします。保育士はNちゃんやNちゃんの保護者の気持ちを汲み取り丁寧な対応をしようと考えています。

【設問】

NちゃんやNちゃんの保護者に対して、「保育所保育指針」第3章「保育の内容」の(1)「養護に関わるねらい及び内容」に基づいた保育士の対応として、最も適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- A 子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息をとることができるようにする。
- B 子どもの食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にすることなどについて、保護者の負担が軽くなるように、子どもには早期に指導する。
- C 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共感しながら、子どもとの継続的な信頼関係を築いていく。
- D 家庭との連携を密にし、保健師等との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問8 次の文は、「保育所保育指針」第3章「保育の内容」の(2)「教育に関わるねらい及び内容」に関する記述である。正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「健康」では、「他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。」とされている。
- B 「環境」では、「園の安全管理のために、子どもが周囲の様々な環境に慎重にかかわるように指導し、保育者の指示があるまでは行動を起こさぬように徹底すること。」とされている。
- C 「表現」では、「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。」とされている。
- D 「言葉」では、「経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。」とされている。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問9 次の文は、「保育所保育指針」第1章「総則」の(3)「保育の環境」に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 保育室は、保育者が厳しく安全管理し、子どもにとって緊張感のある場となるように配慮すること。
- 2 子ども自らが環境に関わり、自発的に活動し、様々な経験を積んでいくことができるよう配慮すること。
- 3 子どもが人と関わる力を育てていくため、子ども自らが周囲の子どもや大人と関わっていくことができる環境を整えること。
- 4 子どもの活動が豊かに展開されるよう、保育所の設備や環境を整え、保育所の保健的環境や安全の確保などに努めること。
- 5 保育所は人、物、場などの環境が相互に関連し合い、子どもの生活が豊かなものとなるよう、計画的に環境を構成し、工夫して保育しなければならない。

問10 次の文は、「保育所保育指針」第2章「子どもの発達」の(1)「おおむね6か月未満」に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 泣く、笑うなどの表情の変化や体の動き、喃語などで自分の欲求を表現する。
- 2 象徴機能が発達し、人や物との関わりが強まる。
- 3 首がすわり、手足の動きが活発になり、その後、寝返り、腹ばいなど全身の動きが活発になる。
- 4 視覚、聴覚などの感覚の発達がめざましい。
- 5 母体内から外界への急激な環境の変化に適応し、著しい発達が見られる。

問 11 次の文は、「保育所保育指針」第6章「保護者に対する支援」の2「保育所に入所している子どもの保護者に対する支援」の一部である。(A)～(D)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 保育所において、保護者の仕事と子育ての両立等を支援するため、通常の保育に加えて、保育時間の延長、休日、夜間の保育、(A)に対する保育など多様な保育を実施する場合には、保護者の状況に配慮するとともに、(B)が尊重されるよう努めること。
- ・ 保護者に(C)が見られる場合には、保護者の希望に応じて個別の支援を行うよう努めること。
- ・ 保護者に不適切な養育等が疑われる場合には、市町村や関係機関と連携し、要保護児童対策地域協議会で検討するなど適切な対応を図ること。また、虐待が疑われる場合には、速やかに市町村又は(D)に通告し、適切な対応を図ること。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|--------|--------|-------|--------|
| 1 | 病児・病後児 | 子どもの福祉 | 育児不安等 | 児童相談所 |
| 2 | 乳児 | 子どもの福祉 | 経済的困難 | 児童相談所 |
| 3 | 病児・病後児 | 保護者の意見 | 育児不安等 | 児童厚生施設 |
| 4 | 児童 | 保護者の意見 | 経済的困難 | 児童相談所 |
| 5 | 乳児 | 子どもの意見 | 家族問題等 | 児童厚生施設 |

問 12 次の文は、「保育所保育指針」第 7 章「職員の資質向上」の 2 「施設長の責務」の一部である。(A) ～ (D) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 施設長は、保育所の役割や (A) を遂行するために、法令等を遵守し、保育所を取り巻く (B) などを踏まえ、その専門性等の向上に努めること。
- ・ 職員が保育所の課題について (C) を深め、協力して改善に努めることができる体制を作ること。
- ・ 職員及び保育所の課題を踏まえた保育所内外の研修を体系的、計画的に実施するとともに、職員の自己研鑽に対する (D) に努めること。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|-------|------|---------|-------|
| 1 | 保育の目標 | 自然環境 | 個人の職業意識 | 援助や助言 |
| 2 | 保育の目標 | 社会情勢 | 個人の職業意識 | 援助や助言 |
| 3 | 社会的責任 | 教育情勢 | 共通理解 | 指導や教育 |
| 4 | 社会的責任 | 社会情勢 | 共通理解 | 援助や助言 |
| 5 | 社会的責任 | 自然環境 | 団結力 | 指導や教育 |

問 13 次の文は、日本の保育の歴史に貢献した女性についての記述である。(A) ～ (D) にあてはまる人名の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 1876 (明治9) 年、東京女子師範学校附属幼稚園の開設時には、ドイツでフレーベル教員養成を受けた (A) を主任保母に迎え、保育方法の伝授にあたらせた。
(A) の指導の下、実際に保育にあたったのは日本人保母 (B) と近藤濱である。
- ・ (C) はアメリカの婦人宣教師として来日し、1889 (明治22) 年に、神戸に「頌栄幼稚園」、「頌栄保母伝習所」を設立した。フレーベルの保育思想を伝えるため、フレーベルの著書『母の遊戯及育児歌』の翻訳本出版にもかかわった。
- ・ 1900 (明治33) 年、クリスチャンであった (D)、森島峰は寄付を集め、東京市麹町地区に二葉幼稚園 (のちの二葉保育園) を設立した。二葉幼稚園は、付近の貧困家庭の幼児を入園させ、日中、親の保護が及ばず街路に放置された幼児たちをよい環境の下で教育し、親の育児負担を軽減することを目的とするものであった。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|--------------------|------|-----------------------|------|
| 1 | 松野クララ | 豊田英雄 | ハウ (Howe, A. L.) | 野口幽香 |
| 2 | 松野クララ | 赤沢仲子 | ヘファナン (Heffernan, H.) | 徳永恕 |
| 3 | 松野クララ | 赤沢仲子 | ハウ (Howe, A. L.) | 桜井ちか |
| 4 | ブリテン (Britten, H.) | 赤沢仲子 | ヘファナン (Heffernan, H.) | 桜井ちか |
| 5 | ブリテン (Britten, H.) | 豊田英雄 | ハウ (Howe, A. L.) | 野口幽香 |

問 14 次の文は、諸外国の保育の歴史についての記述である。(A) ~ (D) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・モンテッソーリ (Montessori, M.) は、イタリア初の女性医学博士であり、障害児教育者でもあった。彼女は 1907 年ローマの貧民街の中の保育施設を任された。その施設は (A) と名付けられた。そこで行われた保育実践の過程はのちに英訳され、“The Montessori Method” (『モンテッソーリ・メソッド』) として出版された。
- ・1800 年、スコットランドの工場経営者として就任したオーエン (Owen, R.) は、博愛経営主義方針を引き継ぎ、それを推し進めた。その経験をもとに 1813 年、『新社会観』を出版した。1816 年、オーエンは、自分の工場で働く労働者家族のために、(B) を開設し、そこに 1 ~ 6 歳の幼児を預かる「幼児学校」(infant school) を置いた。
- ・1914 年、マクミラン (McMillan, M.) は、ロンドンのスラム街に、広い庭と、戸外に大きく開け放たれた小建物群からなる (C) を開設した。
- ・フレーベル (Fröbel, F. W.) は、1839 年、ドイツのブランケンブルグの町に「幼児教育指導者講習科」を開設した。その講習生のための実習施設として作られた「遊びおよび作業教育所」をフレーベルは (D) と名付けた。自然の園で、万物が神の恵みのもとに調和と統一によっていきいきとその本質を伸ばしているように、幼児は (D) でいきいきとその本質を伸ばしていかなければならないというのが彼の考えであった。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|-------|--------|-------|--------------------|
| 1 | 子どもの家 | 性格形成学院 | 編み物学校 | 幼稚園 (Kindergarten) |
| 2 | 子どもの園 | 性格形成学院 | 編み物学校 | 幼稚園 (Kindergarten) |
| 3 | 未来の家 | 新社会学院 | 保育学校 | 一般ドイツ幼稚園 |
| 4 | 子どもの園 | 新社会学院 | 編み物学校 | 一般ドイツ幼稚園 |
| 5 | 子どもの家 | 性格形成学院 | 保育学校 | 幼稚園 (Kindergarten) |

問 15 次の文は、「保育所保育指針」第 1 章「総則」の（1）「保育の目標」の一部である。

（ A ）～（ E ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- 保育所は、子どもが生涯にわたる（ A ）形成にとって極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場である。このため、保育所の保育は、子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の（ B ）を培うために、次の目標を目指して行わなければならない。
- 保育所は、入所する子どもの保護者に対し、その（ C ）を受け止め、子どもと保護者の（ D ）に配慮し、（ E ）の特性や保育士等の専門性を生かして、その援助に当たらなければならない。

（組み合わせ）

| | A | B | C | D | E |
|---|----|----|----|--------|-----|
| 1 | 人格 | 基盤 | 心情 | 愛着の形成 | 地域 |
| 2 | 人格 | 基礎 | 心情 | 安定した関係 | 地域 |
| 3 | 人間 | 基礎 | 意向 | 愛着の形成 | 保育所 |
| 4 | 人間 | 基礎 | 意向 | 安定した関係 | 保育所 |
| 5 | 人間 | 基礎 | 意向 | 愛着の形成 | 地域 |

問 16 次の文は、「保育所保育指針」第 1 章「総則」の(2)「保育の方法」の一部である。

(A) ～ (D) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 子どもの発達について理解し、一人一人の(A)に応じて保育すること。その際、子どもの(B)に十分配慮すること。
- ・ 子ども(C)の関係作りや互いに(D)を大切にし、集団における活動を効果あるものにするよう援助すること。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|------|------|----|-------|
| 1 | 発達過程 | 個人差 | 相互 | 尊重する心 |
| 2 | 発達段階 | 個人差 | 同士 | 尊重する心 |
| 3 | 発達過程 | 生活環境 | 同士 | 競い合う心 |
| 4 | 発達段階 | 生活環境 | 相互 | 競い合う心 |
| 5 | 発達過程 | 性格 | 同士 | 競い合う心 |

問 17 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

1月、4歳児クラスではこま回しを多くの子ども達が楽しんでいました。Tちゃんは、こま回しが得意で、いろいろな種類のこまを回すことが出来ます。Tちゃんと仲の良いSちゃんは、こま回しは得意ではありませんでしたが、自分が組み立てたブロックがこまのように回せることを発見しました。TちゃんとSちゃんはその様子を面白がり、互いにいろいろと回し方を工夫するようになりました。その様子を見ていた周囲の子ども達も興味を示している様子でした。

【設問】

「保育所保育指針」第3章「保育の内容」のイ「人間関係」に照らして、子どもの育ちを捉えようとする場合、最も適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 保育所における遊び方を知り、保育者に生活の場を整えてもらいながら遊びを進めていく。
- 2 友達と一緒に活動する中で、共通の目的を見だし、協力して物事をやり遂げようとする気持ちを持つ。
- 3 友達の良さに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。
- 4 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。
- 5 自分で考え、自分で行動する。

問 18 次の文は、「保育所保育指針」第4章「保育の計画及び評価」のオ「家庭及び地域社会との連携」の一部である。(A)～(E)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

子どもの生活の(A)を踏まえ、家庭及び地域社会と連携して保育が展開されるよう配慮すること。その際、家庭や地域の(B)の協力を得て、地域の(C)、人材、行事、施設等の(D)を積極的に活用し、豊かな(E)を始め保育内容の充実が図られるよう配慮すること。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D | E |
|---|-----|--------|----|--------|------|
| 1 | 連続性 | 関係機関 | 環境 | 機関及び団体 | 実践 |
| 2 | 連続性 | 機関及び団体 | 自然 | 資源 | 生活体験 |
| 3 | 実態 | 関係機関 | 自然 | 資源 | 経験 |
| 4 | 実態 | 人々 | 環境 | 機関及び団体 | 経験 |
| 5 | リズム | 機関及び団体 | 環境 | 資源 | 生活体験 |

問 19 次の文は、「保育所保育指針」第3章「保育の内容」の(2)「乳児保育に関わる配慮事項」の一部である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 乳児は疾病への抵抗力が弱く、心身の機能の未熟さに伴う疾病の発生が多いことから、一人一人の発育及び発達状態や健康状態についての適切な判断に基づく保健的な対応を行うこと。
- 2 一人一人の子どもの生育歴の違いに留意しつつ、欲求を適切に満たし、特定の保育士が応答的に関わるように努めること。
- 3 乳児保育に関わる職員間の連携や嘱託医との連携を図り、第5章（健康及び安全）に示された事項を踏まえ、適切に対応すること。
- 4 保護者のニーズに耳を傾けながら保育を進めるとともに、保護者からの要求に応じた、保護者サービスに努めていくこと。
- 5 担当の保育士が替わる場合には、子どものそれまでの経験や発達過程に留意し、職員間で協力して対応すること。

問 20 次の文は、「子ども・子育て支援新制度」に関する記述である。(a)～(e)の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

「子ども・子育て支援新制度」とは、平成 24 年 8 月に成立した「子ども・子育て支援法」、「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律」、「子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」の (a) 子ども・子育て関連 3 法に基づく制度のことをいう。この制度の主なポイントは、認定こども園、幼稚園、保育所を通じた共通の (b) 「地域型給付」 及び小規模保育等への (c) 「施設型保育給付」 の創設、(d) 認定こども園制度の改善、地域の実情に応じた子ども・子育て支援の充実、(e) 子ども・子育て会議の設置 などである。

(組み合わせ)

| | a | b | c | d | e |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ | ○ |
| 4 | ○ | × | × | ○ | × |
| 5 | × | ○ | ○ | × | ○ |

